

大田区

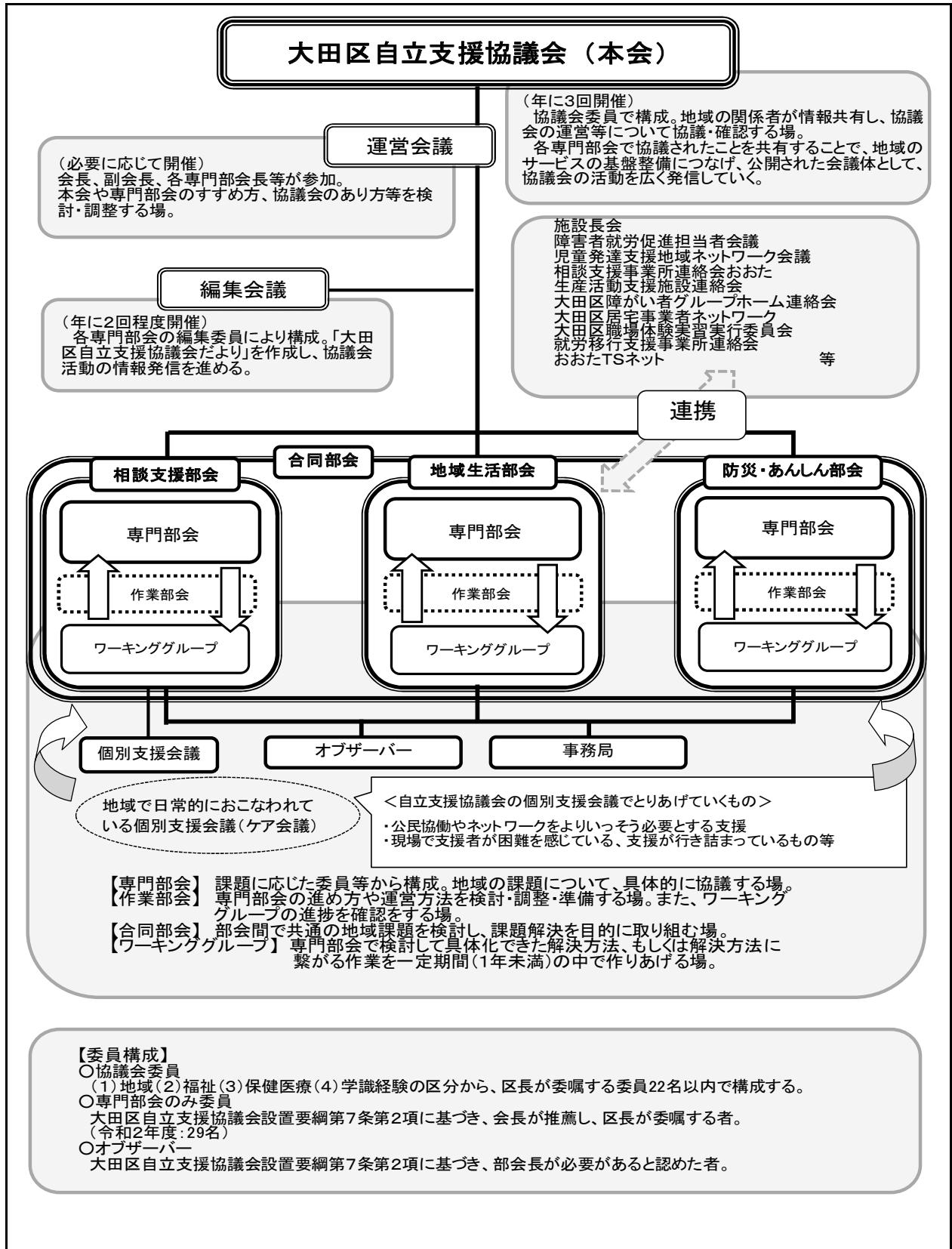
【名称】大田区自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/fukushi/shougai/kaigi/kyogikai/index.html>

【設置年月】平成20年7月

【運営方法】直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
1	0	7	6	40	16

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
整備済	平成29年7月	多機能拠点整備型+面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
2	22 (4)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
相談支援部会	4	16 (0)
地域生活部会	6	19 (1)
防災・あんしん部会	6	15 (5)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	1	保健所	0
教育関係機関	3	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	8	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	2
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	0	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	1		
合計	22				

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	名川 勝	筑波大学 人間総合科学研究科	学識経験者	
2	副会長	山根 聖子	大田区手をつなぐ育成会	障害当事者・家族・関係団体	
3		蛭子 明子	大田区肢体不自由児者父母の会	障害当事者・家族・関係団体	
4		青山 明子	大田区重症心身障害児（者）を守る会	障害当事者・家族・関係団体	
5		田邊 俊子	NPO法人 大身連	障害当事者・家族・関係団体	
6		遠藤 文夫	大田区肢体障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
7		宇田尻 浩司	大田区視覚障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
8		藤澤 成光	大田区聴覚障害者協会	障害当事者・家族・関係団体	
9		古怒田 幸子	大田区精神障害者家族連絡会	障害当事者・家族・関係団体	
10	副会長	神作 彩子	大田区立障がい者総合サポートセンター	相談支援事業者	
11		宮坂 貴子	大田区立久が原福祉園	障害福祉サービス等事業者	
12		鈴木 啓太	NPO法人ライフサポートかたつむり 糞谷作業所	相談支援事業者	
13		鶴田 雅英	社会福祉法人東京コロニー 東京都大田福祉工場	障害福祉サービス等事業者	
14		伊藤 朋春	株式会社ナイスケア	障害福祉サービス等事業者	
15		宮崎 渉	NPO法人ふぁみりーサポートちききネットくれよんくらぶ	障害福祉サービス等事業者	
16		大場 貴弘	社会福祉法人大田幸陽会 障害者生活ホーム	障害福祉サービス等事業者	
17		志村 陽子	おおたTSネット	その他	
18		宮嶋 祐紀子	東京都立矢口特別支援学校	教育関係機関	
19		真弓 あすか	東京都立城南特別支援学校	教育関係機関	
20		佐久間 香織	東京都立田園調布特別支援学校PTA	教育関係機関	
21		吉田 昭子	社会福祉法人 大田区社会福祉協議会	社会福祉協議会	
22		増井 優	東京都保健医療公社 荏原病院	医療関係者	

(2) 活動内容

各部会活動の共有・発信。地域課題から障がい福祉サービスの基盤整備につなげていく。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	部会名		
	相談支援部会	地域生活部会	防災・あんしん部会
学識経験者	0	0	0
医療関係者	0	1	0
保健所	0	0	0
教育関係機関	0	2	1
雇用関係機関	0	0	0
企業	0	0	1
障害当事者・家族・関係団体	2	4	7
身体・知的障害者相談員	0	0	0
相談支援事業者	8	1	0
障害福祉サービス等事業者	4	10	3
社会福祉協議会	1	0	0
法曹関係者	1	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0
地域住民	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0
行政職員(都)	0	0	0
その他	0	1	3
計	16	19	15

(2) 活動内容

部会名	活動内容
相談支援部会	個別支援会議の実施（複数の要支援状態の方がいる家族の課題） 大田区の相談支援体制の検討 障害福祉サービスと介護保険サービスの連携のために、「介護支援専門員と相談支援専門員の実務比較表」を作成
地域生活部会	WITH新型コロナウイルスにおける新しい生活様式に関する地域課題の検討 障がい種別毎の事例に対応した、制度や相談先の図式（案）を作成 「区内日中活動施設」や「就労定着支援」のアンケート結果を踏まえた分析
防災・あんしん部会	福祉避難所開設協定施設を中心としたアンケートの実施・集約 それぞれの立場から災害時に想定される状況を整理するため、災害対策チェックワークショップを実施 ヘルプカードの増刷に伴う内容の検討 地域の防災上の特徴を把握するため、「まち歩き」を実施し、防災避難行動での課題を可視化 大田区や東京都の権利擁護に関する取り組みを整理

【地域協議会の活動状況】

1 地域協議会の協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 相談支援部会参照

② 就労支援に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 地域生活部会参照

③ 地域移行・地域定着支援に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 地域生活部会参照

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 相談支援部会参照

⑤ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 相談支援部会参照

⑥ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照

⑦ 社会資源の開発及び改善に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照

⑧ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 防災・あんしん部会参照

⑨ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 地域生活部会参照

⑩ 障害福祉計画等に関すること

運営会議において、各専門部会で抽出してきた地域課題を共有し、検証・評価を行う「大田区障がい者施策推進会議」で報告

⑪ 地域自立支援協議会の運営に関すること

運営会議で協議会体制の検討を行い、本会で意見交換を行った。

2 地域協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

学識、当事者、医療、教育と福祉分野のみならず幅広い分野からの情報を共有し、課題解決につなげられるようにしている。また、共有した情報については、各委員の推薦母体に持ち帰ってもらい発信している。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

課題に応じた検討メンバーを分野を越えて招集。顔の見える関係の構築につながっている。

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

学識、当事者、医療、教育と福祉分野のみならず幅広い分野からの情報を共有し、課題解決につなげられるようにしている。

⑤ 地域課題の整理

各専門部会で地域課題の抽出を行い、自立支援協議会で取り上げるべき課題を整理し議論へとつなげている。

3-1 地域協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

① アンケート、ヒアリング等

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

③ 個別支援会議

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

重層的な相談支援体制を踏まえ、基幹相談支援センターや障害者相談支援事業の現状を共有し、課題を検討した。

② 社会資源の開発及び改善

障害福祉サービスと介護保険サービスの連携のために、「わたすルール」と「つながるツール」を具現化し、「介護支援専門員と相談支援専門員の実務比較表」をまとめた。

③ 権利擁護・虐待防止

発達障がい児の虐待に関する事例を用いて、相談に関わる窓口や制度を図式化
大田区や東京都の権利擁護に関する取り組みを整理した。

④ 高齢福祉分野との連携

障害福祉サービスと介護保険サービスの連携のために、「わたすルール」と「つながるツール」を具現化し、「介護支援専門員と相談支援専門員の実務比較表」をまとめた。

⑥ 緊急・災害等対応

ヘルプカードの増刷に伴い、内容を改良。また、普及啓発として、ヘルプカードが掲載されているホームページの内容を更新
区内の要配慮者支援先となる福祉避難所開設協定施設を中心にアンケートによる現状調査を実施した。

⑧ 障害児支援

障がい種別ごとの事例を用いて、相談に関わる窓口や制度を図式化

⑩ 就労支援

区内で開設された就労定着支援事業所にアンケート調査を実施し、支援ニーズに基づく継続した事業実施に関する課題を整理した。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

4-1 多様な当事者の委員(障害や難病の種別、性別、年齢等)に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

ヒアリンググループ(必ずマイクで名前を言ってから話すルールも含めて)、手話通訳(聴覚障がい)、データ化した資料の事前配布、ガイドヘルパー(視覚障がい)の配慮を行っている。

(地域協議会を設置している区市町村)

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者(障害や難病の種別、性別、年齢等)の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

知的障がいや精神障がいなど、説明理解への支援や体調への配慮が必要な方の参加について課題があがっている。